

特許を軸とした事業開発を多面的に支援

本 社 〒004-0805 北海道札幌市清田区里塚

U R L <https://www.manshitsunavi.com/>

業務内容 不動産関係のデータプラットフォーム開発

設 立 年 2019年1月 **資 本 金** 176万円

株式会社RESAは、AIで賃貸用不動産の投資効率を向上させるサービス「満室ナビ」や、DX推進コンサルティングサービス等を提供している。地域に根差しグローバルに活躍することが期待される有望なスタートアップとして、J-Startup HOKKAIDOに選定されている。



代表取締役CEO 芝哲也氏

■ 相談のきっかけ（取得した特許の価値は…?）

同社は、AIによるデータ分析を通じて、不動産業界の効率化やDX推進に取り組んでいる。



物件データ収益化支援
サービス「満室ナビ」

革新的なデータ記録方法としてのブロックチェーンが注目を集める中、同社はこの技術を不動産契約に利用することを構想し、2023年に特許を取得した。この特許は一部で話題になったものの、芝CEOはその価値について確信を持たず、本格的な事業開発に踏み出すことができずにいた。

特許に価値があるのであれば、資金調達に利用できるはずと考えた芝CEOは、INPITのスタートアップ知財支援窓口へ相談し、知財戦略エキスパート（以下「知財EX」）の支援を受けることになった。

■ 知財EXの支援内容

（1）特許のポテンシャルの理解と共鳴

これまでの実務経験で多数の特許を取り扱い、特許

の価値検討に長く携わってきた知財EXが同社の特許を確認したところ、その先見性と基本的な内容から、将来の不動産業界に大きなインパクトを与える可能性があるものであった。知財EXは、同社の特許は大きなポテンシャルを秘めており資金調達や業界を変革する柱になりうることを力説し、芝CEOもそれに共鳴して、特許を軸にした事業開発に本格的に着手した。

以降、知財EXによる継続的な支援が続いており、その内容は知財面だけに留まらず、知財を武器にした事業面・経営面への助言にも及んでいる。

（2）他支援機関との連携による多面的な支援

同社の本拠地である北海道での事業検証等のために、知財EXは、北海道経済産業局などの他支援機関とも積極的に連携を図った。知財支援の専門家の目線から、同社の特許のポテンシャルを他支援機関へ紹介することもあり、円滑な橋渡しと協力の取り付けにも貢献した。

支援企業の声

INPITとの出会いは対話型AIがきっかけでした。特許が記事になっていると知り、AIの助言で相談。広範な特許と評価を得たものの、広範なゆえにビジネスモデルの落とし込みに苦戦。知財EXの支援により、スモールスタート可能なモデルを構築でき、本当に感謝しています。知財は専門家に相談すべきです。スタートアップの方で知財でお困りの際は、INPITへの相談を強くお勧めします！（代表取締役CEO 芝哲也氏）

知財戦略エキスパートのコメント

芝CEOからの最初の相談は「取得した特許で資金調達できるか？」というものでした。一般的に、特許のみでの資金調達はハードルが高いため、どこまで支援できるか不安を覚えました。しかし、実際に見た特許は非常にインパクトがあるもので、革新的な事業創出に繋がると芝CEOに伝えたとこ、事業開発が一気に加速。芝CEOのスピードに驚嘆しながら継続支援させていただく日々です。（知財戦略エキスパート 廣岡寿人）